

講演会・見学会 静岡ハリストス正教会のイコンと山下りん



日時 2010年10月23日(土) 13:00～
場所 静岡ハリストス正教会アーケホール(静岡市葵区春日3-9-5)

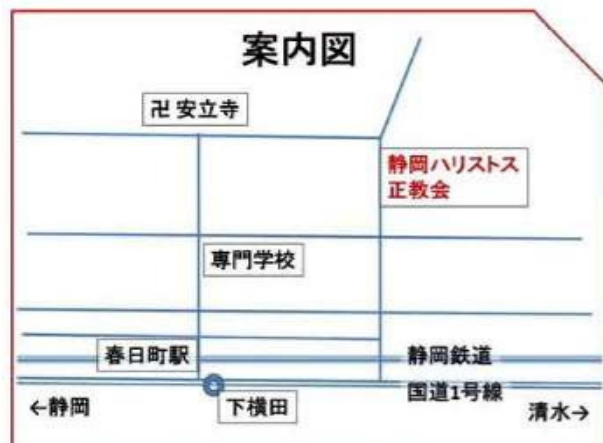
静岡市葵区春日には、カトリックでもプロテスタントでもないキリスト教の教会があります。そこにはキリスト像もマリア像もありませんが、“イコン”というたくさんの絵が飾られています。それらの代表的なものを書いたのは、幕末に生まれ、ロシアで修行した日本人女性、山下りんでした。

プログラム

- ・ハリストス正教会という教会
- ・イラストレーターから見た山下りん
- ・イタリアの中世美術から見るイコン画の世界

田中仁一(小田原ハリストス正教会司祭)
吉田穂美(イラストレーター、絵本作家)
金沢百枝(東海大学文学部准教授)
司会 小二田誠二(静岡大学人文学部教授)

- * 終了後、16:30まで聖堂見学ができます。
- * 入場無料。定員100名。
- * 事前予約はできません。当日入場を制限する場合がありますのでご了承下さい。
- * 会場及び近辺に駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。
- * 静岡鉄道(電車)春日町・しずてつジャストライン(バス)下横田下車 徒歩5分です。



主催 静岡ハリストス正教会・静岡大学人文学部・静岡大学地域社会文化研究ネットワークセンター・鞠水書屋
問い合わせ 小二田誠二(静岡大学人文学部言語文化学科) jjskoni@ipc.shizuoka.ac.jp

静岡ハリストス正教会のイコンと山下りん



日時 2010年10月23日(土) 13:00～
場所 静岡ハリストス正教会アーケホール(静岡市葵区春日3-9-5)

【ごあいさつ】

一昨年、授業の一環として行った静岡ハリストス正教会の講演会・見学会には、多くの皆さんにお越しいただき、大変ご好評を戴きました。

その企画を通して私たちは、信仰の有無に関わりなく、静岡の貴重な文化遺産として、ここを後世に伝えていく必要を痛感しました。これらの文化財を守っていくためには、まず、この教会やイコンについて、私たちが、もっと深く知ることが大切です。

今回の企画は、東西の古典絵画・芸能に造詣の深いイラストレーターの吉田稔美さん、中世以前にさかのぼるキリスト教美術史の研究者、金沢百枝さんをお招きし、実作者から見た山下りんという人物や作品について、ルネサンス以前のキリスト教美術と、イコンの変遷、そして、山下りんの独自性など、ご専門の立場から解説していただく願ってもない機会です。

もちろん、司祭様には、ハリストス正教会そのものについても解りやすくお話しいただき、聖堂のイコンも、実際に、解説付きで見学させていただくことが出来ます。

皆様お誘い合わせで、ぜひお越し下さい。

静岡大学人文学部言語文化学科 小二田誠二

講師紹介



【吉田稔美/よしだとしみ】

兵庫県西脇市生まれ。グラフィックデザイナーを経て、フリーランスイラストレーターとして広告、装幀、雑誌のイラストレーション、絵本作家として、国内外で絵本、児童書挿絵の著作を出版のほか、オリジナル・ピープショー(のぞきからくり)の研究制作、商品化など、幅広く活躍。

1999年、イタリア・ボローニャ国際絵本原画展入選。2010年、日本イタリア古楽協会ロゴタイプ・ロゴマーク制作。著作絵本や挿絵本として「ネバーガールズ」「ルネサンス踊り絵本」「金の輪」(架空社)、「つづきのねこ」(講談社)、「うずまき貝のロケット」「風をつかまえて」「子ねこのおっくん」「オレンジ色の UFO」「ちいさなカンガルー」「パンダ

のダンパ」(ひくまの出版)、「星磨きウサギ」(理論社)、「麦わらの絵本」(農文協)、「Crow and the Pitcher」(韓国 AgaWorld) など多数。現在、御茶の水美術専門学校非常勤講師、東洋美術学校客員講師。



【金沢百枝/かなざわももえ】

東京生まれ。1997年、東京大学大学院理学系研究科植物学専攻にて博士号(理学)、2007年同大学大学院総合文化研究科にて博士号取得。2000～2001年ロンドン大学付属コートールド美術史研究所留学。専門はローマネスク美術。著書『ローマネスクの宇宙—ジローナの《天地創造の刺繍布》を読む』(東大出版会、2008年)。2005年鹿島美術財団優秀賞受賞。2009年第21回「辻荘一・三浦アンナ記念学術奨励金」受賞。東海大学文学部ヨーロッパ文明学科准教授。

2010年9月、『イタリア古寺巡礼 ミラノ→ヴェネツィア』(新潮社「とんぼの本」)刊行。